

広報は住民との橋渡し

「私のように県外から来た人にとって、広報を通じて知人や一つの地域コミュニティが形成されているのがあるがたい」と話す知北徹さん。6年前に縁もゆかりもない三芳町へ。出産を機に広報みよしを読み、町への関心が深まったと言います。

「出産前の両親学級、読み聞かせ、いも掘りまつりなどの町の情報は、広報みよしや町のホームページ、SNSで得るようになりました。三芳町の広報の良さは、イベント情報だけでなく、イベント後の写真を活用してレポートをしていること。参加者は思い出に残り、参加していない人は興味を持ってくれる」と知北さん。「毎回テーマを持った特集を組み、月単位で見ると一つの特集かもしれないですが、1年を通して、三芳町の様々な取り組みや良さが伝わってくるんです」と言う知北さんが広報に期待することは――。

「資源が豊富な三芳町。町の魅力をSNSなども活用して発信してもらい、広報が町と住民、企業との橋渡しの役になって欲しいです」

想いが詰まった広報紙

「三芳町に転入した当初は孤独でした。それを解放してくれたのが広報みよしだったんです」と付せんが貼られた広報みよしを広げながら話す、鈴木理恵さん。広報がきっかけで絵本の読み聞かせなど、町の事業にボランティアとして多く関わるようになりました。

「自分の町のことを知りたいと思ったときに手にした広報みよし。検診や子育て情報、知り合いが載っているところに丸をつけて付せんを貼っています」と鈴木さん。「表紙が良いから捨てられない」と大切に保管している広報みよしを眺めながら、そうつぶやきます。

「はじめて子どもが広報に載ったとき、カラーコピーをして親戚中に配ったんですよ」と照れ笑いを浮かべながら「広報みよしのファンになって、やがて三芳町のファンになりました」と言う鈴木さんにとっての広報とは。

「登場する人、配布する人、作っている人――。たくさん想いが詰まった広報みよしは、私の心のオアシスです」

広報と一緒に成長したネー！

みよしで育ってこんなに大きくなりました！



（写真上）広報やSNSを活用し、いも掘りまつりなど、町のイベントに積極的に参加しています。（写真下）理咲ちゃんがまだお腹の中にいる時、妊婦体験などをする保健センターの事業「両親学級」にも参加。



たのしいが、こぼれー！
わたしの、みよしを
みよしから、ごめんなさい。

最近お姉ちゃんになりました！
知北 理咲ちゃん



知北 徹さん



（写真上）鈴木さんが2011年から欠くことなく保存している広報みよし。（写真左・左下）長女の茂美さん。本が大好きで、町の事業「ビブリアオバトル」に参加した様子を平成28年12月号に掲載。（写真右下）町の事業に積極的に参加。図書館のボランティアとして、地域の子どもたちに読み聞かせをしています。



本が大好き！
鈴木 茂美さん



鈴木 理恵さん

広報みよしは心のオアシスです。

お気に入りの
平成28年12月号の読書特集

住民と一緒に！読む価値のある地域の広報紙へ。

スキっ！広報みよし。

毎月届くのを楽しみにしています！

自然が豊かな三芳町で子育てをしたいと数年前、引っ越してきました。初めて広報が届いたとき、雑誌だと勘違いしてしまいました（笑）。子育て情報が充実していて、特集も面白い。毎月捨てずに保存している広報みよし。地域の情報をこれからも届けてほしいと思います。

遠藤 友紀子さん・すみれちゃん



SNAP撮影会

2014年9月に初めて開催した「SNAP撮影会」当日が誕生日だった理咲ちゃんが同年12月号の広報みよしの表紙に。その後、撮影会は恒例となり、毎年開催。現在は「LOVE MIYOSHI」のフォトブロップスを持って撮影し、記念にデータを差し上げるイベントを実施。

日本手話コーナーから生まれた地域のコミュニティ

広報みよしのAR日本手話コーナーがきっかけで、見知らぬ人から「手話動画見ってます！少しだけ手話を覚えました！」と手話で語りかけられたことがあり、大感激。地域の繋がりやコミュニティが生まれました。約10年前に三芳町に越してきましたが、広報みよしでいろんな情報を得られ、町のことがどんどん好きになりました。行ってみたい、住んでみたいと思われるように、これからも広報みよしを充実したものにしてほしいと思います。

AR日本手話に出演中
高波 美鈴さん



みんなの広場ページで
AR手話動画配信

広報を語る
動画配信の
声をだす
おしゃべり
コーナー

三芳町出身モーニング娘。OG 吉澤ひとみさんが広報大使！



2014年11月、モーニング娘。OGの吉澤ひとみさんを三芳町広報大使に任命。吉澤さんは生まれも育ちも三芳町。ふるさとのため、無償で町をPRしています。その広報活動は広報コンクールの審査ポイントになり、ふるさとを愛する想いが、広報みよしが一歩になった原動力にもなりました。幼少期には今も裏表紙で続く「みよしのアイドル」に登場。